

9-10か月児健診 診察手順の例

保護者に抱かれて診察

- ・ 頭頸部、胸背部の一般的診察
- ・ 目と目が合うか（社会性）
- ・ 積み木を持たせる

仰臥位・座位

- ・ 仰臥位の姿勢、四肢の動き
- ・ 腹部、股関節診察
- ・ 引き起こし反応
- ・ 座位の安定性

立位・腹臥位・ハイハイ

- ・ Loose shoulder、足の着き方、シャフリング
- ・ ホッピング反応
- ・ つかまり立ち、前方パラシュート、ハイハイ

泣かせない工夫

9－10か月児や1歳6か月児では泣く子も多い

- ①興味をもつもの（音の出るもの、動きのあるおもちゃ）で気を引く
- ②母の手に積み木を置き、つかませる
- ③すぐに診察せず、あやす
- ④背中から診察
- ⑤診察中もあやし続ける
- ⑥「口の中をみる」など、嫌がることは最後